

他社が嫌がる高品質の シール印刷にあえてチャレンジ

インキのにじみやかすれが1枚見つかっただけですべて返品になってしまう。そんな厳しい条件のシール印刷にあえて挑戦する会社が、株式会社ニットクです。シール印刷需要の8割は食品関係のシールですが、需要が多い分、激しい価格競争を強いられます。

弱電機器や自動車の部品などに貼られるシールや、薬品用ラベルは、失敗が許されない厳しい条件ではあるが競争相手も少なく“やりがい”のある仕事です。「私たち中小零細企業が生き抜くために、他社が嫌がる仕事をやっていこうと考えたのです」と早川康利社長は話します。そのため品質・環境マネジメントシステム（ISO9001、ISO14001）を導入して、品質向上に取り組んでいます。さらに数千万円する自動外観検査機の設備を導入して検査精度をあげ、お客様の求める水準より上をいく品質をつねに目指しています。



印刷、ラミネート、型抜きが一度にできるシール専用の印刷機



光るシール(写真左)とマウスパッド(写真右)。受注生産から製造販売への転換が目標



CCDの高速シャッターで、自動的に品質が検査できる

ここがすごい!!👍

「日々の向上心！」 工夫の達人がいる会社

数万枚という大量のシールを印刷する印刷機は、凸版輪転印刷という方式が主流です。しかし凸版印刷には、印刷スタートまでに様々なセッティングが必要です。ロスを出るだけ出さずに品質を高めるためには、各工程の工夫や機械の調整が欠かせません。印刷機を操作するオペレーターのスキルアップとモチベーションにかかってきます。同社では、目標に「向上心」を掲げ、社員が一丸となって品質向上に取り組んでいます。どんな難題にもあきらめない工夫の達人がいっぱいいる会社です。



腰に道具バッグを付けることで探す時間のロスを軽減。

VOICE つねに前向きな気持ちが 欠かせないですね

製造業に求められる人材は、今やっている仕事に満足しない人です。つねに「？」で向上心をもって前向きに進む気持ちが欠かせません。それが技術革新であり、日本の技術力を支えてきたわけですから。



早川康利代表取締役社長

株式会社ニットク

www.nittoku.net

代表者 早川 康利
所在地 世田谷区千歳台2-45-3
設立 昭和46年(1971年)
主な事業 シール、ラベルの印刷
連絡先 ☎03-3483-5101

